

児童文化センター共創施設整備に向けたワークショップの開催結果について

1 趣旨

現在、児童文化センターと鳥取大学医学部体育館の共創施設整備を検討しています。今年度の「基本計画」策定に向け、市民から広くアイデアを収集するため、全2回のワークショップを開催しました。

2 開催概要及び参加者数

第1回ワークショップ

＜日時＞：令和8年5月2日（土）14：00 ～

＜参加者＞：10名（うち小中学生3名）

＜内容＞：共創施設における「科学や文化を学ぶ場所」「いつでも遊べる居場所」をテーマに、施設への期待やアイデアを意見交換。

第2回ワークショップ

＜日時＞：令和8年6月14日（日）10:00～

＜参加者＞：18名（うち小中学生4名）

＜内容＞：第1回の意見を踏まえ、具体的なコンセプトや導入機能、ソフト面のアイデアを統合・深化させるグループワークを実施。

3 ワークショップで出された主な意見

施設に対する多様なニーズやアイデアが寄せられました。

（1）施設全体への期待・コンセプト

- ・家や学校でできないワクワクする体験ができ、親子で共に成長できる場所にしてほしい。
- ・安心と挑戦が共存する「多世代のサードプレイス」を目指してほしい。
- ・センター本来の目的である「児童の健全育成」の観点から、中高生になっても継続して利用できる環境や多様な大人との交流など、児童の成長段階に応じた幅広い利用を求める声が挙がりました。

（2）具体的な機能・設備に関するアイデア

【文化・科学・最新技術の学び】

プラネタリウムや天体観測、電子顕微鏡などの既存機能を充実させるとともに、プログラミングや3Dプリンター、科学実験など知的好奇心を刺激する環境がほしい。

【全天候型の遊び場と体験】

体育館でのバドミントンやボール遊びのほか、動物との交流、eスポーツエリアなど、熱中できる居場所が求められました。

【屋外・地域資源の活用】

交流の象徴となるシンボルツリーや屋上の芝生広場、ミニ農園、プレーパークの設置のほか、隣接する中海を活用したアクティビティ（カヌー、釣り等）への期待が示されました。

4 今後の予定

今回のワークショップで収集した市民意見を参考にしつつ、児童文化センター運営委員会や市民アンケートの結果も踏まえ、以下のスケジュールで整備に向けた計画策定を進めます。

- ・令和8年7月：共創施設基本構想 策定
- ・令和9年1月：共創施設基本計画 策定

【別添資料】児童文化センターワークショップ参加者募集チラシ